

Harmony通信

vol.114
2014.08

URL: <http://www.harmony-office.com/>
mail: info@harmony-office.com
tel:022-796-9231 fax:022-796-9232



Photo by ひろあきさん
北海道 富良野

休眠会社の一斉整理が行われます

全国の法務局で休眠会社の整理が一斉に行われるそうです。
法務省：http://www.moj.go.jp/MINJI/minji06_00082.html

休眠会社・休眠一般法人とは

- 最後の登記から12年を経過している株式会社
(会社法第472条の休眠会社。特例有限会社は含まれません。)
- 最後の登記から5年を経過している一般社団法人又は一般財団法人
(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第149条又は第203条の休眠一般社団法人又は休眠一般財団法人で、公益社団法人又は公益財団法人を含みます。併せて「休眠一般法人」といいます。)

をいいます。

※1の場合は12年以内、2の場合は5年以内に登記事項証明書や代表者の届出印の印鑑証明書の交付を受けていたかどうかは、関係がありません。

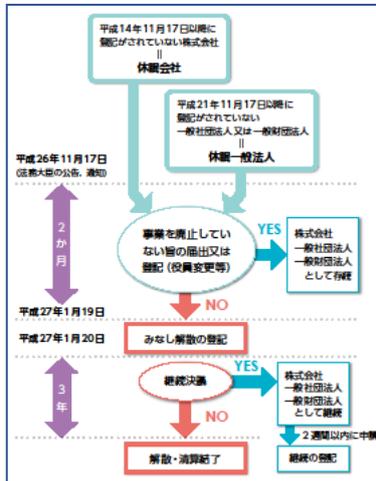
平成26年11月17日(月)の時点で1又は2に該当する会社等は、平成27年1月19日(月)までに「まだ事業を廃止していない」旨の届出又は登記(役員変更等の登記)の申請をしない限り、解散したもののみならず、登記官が職権で解散の登記をしますので、注意が必要です。

なお、みなし解散の登記後3年以内に限り、

- 解散したものとみなされた株式会社は、株主総会の特別決議によって、株式会社を継続
- 解散したものとみなされた一般社団法人又は一般財団法人は、社員総会の特別決議又は評議員会の特別決議によって、法人を継続

することができます。

継続をしたときは、2週間以内に継続の登記の申請をする必要があります。



御不明な点は、お近くの法務局または司法書士までお問い合わせください。

(法務省HPより)

編集後記

「この夏はエルニーニョ現象が発生する可能性があり、東北地方は梅雨明けしないまま秋になるかも・・・」そんな一文を6月の編集後記に記載しましたが、見事に大ハズレ、一昔前の東北では考えられない連日の猛暑日と突然の豪雨、そして国内では記録的な大雨が発生しています。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。さて、この事務所通信の発行日8月10日ですが、8と10は語呂が良いらしく、いくつかの記念日が制定されています。その中のひとつが「帽子の日」。8と10で(ハット)なのだそう。夏の帽子で思い浮かぶのは麦わら帽子ですね。映画や小説のモチーフとしてもよく登場します。赤毛のアン、トム・ソーヤ、人間の証明、ONE PIECE・・・麦わらは元気で健康的かつノスタルジックなイメージがありますね。素材が麦や藁の為、通気性がよく、帽子の中にこもる熱を逃がす為、湿度の高い日本の夏には最適とされています。この夏、お気に入りの一つを見つけてはいかがでしょうか。

<労働災害防止～改めて周知を！>

厚生労働省は、今年1月から6月までに労災事故で亡くなった人が437人(前年同期比71人増)だったことを発表しました。同省では、「景気の回復による人手不足で、経験が足りない労働者が増えたことが影響した」と分析しています。一方、経験豊富な方の「慣れ」が原因の「作業手順飛ばし・早合点・確認漏れ・手抜き」等も後を絶ちません。‘リスクアセスメント’を取り入れる等した注意喚起・再確認をお願いします。

「労働災害のない職場づくりに向けた緊急対策」を実施
http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000053429.html

重点業種別の対策

製造業 (死亡者数 対前年同期比12.3%増、死傷者数 同4.3%増)
※数字は、平成26年1月～6月末の速報値

- 機械等による「はさまれ・巻き込まれ」災害が大幅に増加(死亡42%、死傷5%増)
- 経験年数1年未満の労働者の災害が大幅に増加(9%増)
- 製造業の就業者は増加傾向

→

- 労働災害が多発する食品製造業について、「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」災害が発生した事業場に対し、自主点検の実施の要請
- 業界団体等への自主点検・対策の徹底の要請
- 業界団体等への新規入社教育の徹底の要請
- 暑熱時期の熱中症予防対策の徹底
- 自主点検の点検結果等を踏まえた局舎による指導の実施

建設業 (死亡者数 対前年同期比28.2%増、死傷者数 同4.0%増)
※数字は、平成26年1月～6月末の速報値

- 建設需要が引き続き高水準
- 鉄筋工、型枠工などの建設技能労働者の需給状況が逼迫
- 安全衛生管理活動が低調になっていることが懸念
- 「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」災害による死亡者数が大幅増加

→

- 局・署における「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」災害に係る点検・対策の実施
- 建設関係団体への「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」災害に係る点検・対策の徹底の要請(全国大会におけるパンフレット配布による周知啓発、支部におけるハットロールの実施等)
- 暑熱時期の熱中症予防対策の徹底

陸上貨物運送事業 (死亡者数 対前年同期比61.8%増、死傷者数 同5.1%増)
※数字は、平成26年1月～6月末の速報値

- 死傷者数は平成21年以降、4年連続増加。本年(上半期)も増加傾向。
- 死傷災害は「墜落・転落」が最も多く(29.7%)かつ増加(5.6%増)。
- 特に荷積み、荷下ろし時のトラックからの「墜落」が最も多い。
- 死亡は、交通事故が最も多い。

→

- トラックからの「墜落」の防止に係る集中的な周知啓発を業界団体等に要請
- 災害発生事業場等に対し、「荷役作業の安全対策ガイドライン」に基づく実施状況に係る自主点検の実施の要請
- 荷主対策として、大規模商業施設等に対し、ガイドラインに基づく荷主の取組手続の周知

第三次産業 (死傷者数 対前年同期比7.8%増)
小売業 (死傷者数 同4.5%増)
社会福祉施設 (死傷者数 同6.2%増)
飲食店 (死傷者数 同6.2%増)
※数字は、平成26年1月～6月末の速報値

- 第12次労働災害防止計画の重点業種である小売業、社会福祉施設及び飲食店のいずれも、死傷者数が増加。
- 特に社会福祉施設などでは、労働者数の増加や、高齢化が顕著。
- 「転倒」や「無理な動作」による腰痛など、生命に関わる度合いの比較的小さい災害が多く、事業者、労働者とも労働災害に対する意識が不十分。

→

- 安全推進者の配置及び職場での安全活動の活性化について行政による周知・指導
- 上記事項を関係団体に対して要請
- 社会福祉施設については、都道府県や社会福祉団体とも連携
- 社会福祉施設に対して「職場における腰痛予防対策指針」の研修会を実施

Harmony通信 2014.08

#発行：2014年8月10日

#編集・構成：合同会社Harmony

Harmony司法書士事務所

Harmony社会保険労務士事務所

Harmony行政書士事務所

住所：〒980-0011 仙台市青葉区上杉 2-3-38 クラッセ上杉ビル 4F

TEL:022-796-9231 FAX: 022-796-9232

URL : http://www.harmony-office.com/

mail : info@harmony-office.com

修日記 : http://blog.goo.ne.jp/kadota-osamu/

陽子日記 : http://blog.goo.ne.jp/kadota-yoko/